

8月20日(日)第二礼拝「あなたの心を見守れ」 箴言4章23節

「力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。」いのちの泉とは永遠のいのちです。私達の心の中には、永遠のいのちの木の實と善悪の知識の木の實があります。申命記 30:15「あなたの前にいのちと幸い、死とわざわいを置く」とあります。サタンは、私達の中に永遠のいのちの泉がわく祝福を奪おうと必死です。ですから、私達は申命記 6:5 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、神である主を愛することが大事です。いのちの泉は主から来ます。このいのちの泉を守るための3つのポイントがあります。

第一番目、イエス様の血潮です。430年間エジプトで奴隷生活をしていたイスラエルの民は、エジプトから脱出する時に、門柱とかもいに羊の血をつけました。その血を見て、死の霊がその家を過ぎ越していきました。全てのいのちは血の中にあります。イエス様を信じる私達の中にもイエス様の血潮があります。信仰によって、私達の頭にイエス様の血潮をつけることによって、悪い思いが消えさっていきます。イエス様の血潮は、私達の目、耳、鼻、口、手を高慢さや汚れから守り、更には、体を病から守ってくださるのです。

第二番目、聖霊充満です。水のバプテスマ(悔い改めのバプテスマ)と聖霊と火のバプテスマがあります。聖霊様は火をもって来られます。使徒の働き2章、人々が共に祈りを捧げていた時に、聖霊が臨み、炎のような分かれた舌が現れ、一同の口を火で満たし、異言(御霊による祈り)を語るようにされました。これが聖霊と火のバプテスマです。これを受けると、悪い思い、恐れ、絶望感、鬱、中毒は燃やされて消え去り、聖霊の知識や感情が私達を支配するようになります。そして、異言を語る時に、環境からくる否定的な感情は燃やされ、主が望んでおられる道に私たちを導いてくださいます。ですから、異言をもらい、沢山の異言を語る事が大切です。

第三番目、神様の約束です。神様の約束はいのちです。神様がアブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った約束の地(出エジプト 6:8)を信じて、民は出エジプトしました。民は、荒野の中で火の柱や雲の柱で守られ、岩から水が出て、天からマナがふるといふ奇跡の生活をしました。民数記 13～14章、カデシュ・バルネアでは12名を選び、彼らにヘbron(アブラハムがヘテ人から買い取った土地、彼らの墓地のある所)を40日間偵察させました。戻ってきた12名の内10名はその地について悪く言いふらしたため、民も皆否定的な思いになり、つぶやきました。後に、これらの人々は、その言葉通り40年荒野をさまよひ、約束の地に入ることができませんでした。しかし、「すばらしく良い地だった...彼ら(先住民)を恐れてはならない」と良い報告をしたヨシュアとカレブや、荒野で生まれた第二世代の者達は、後に約束の地に入ることができました。私達もまた、聖霊様と共に、どんな環境であっても、否定的な思いを捨て、約束の御言葉を信じて告白し、宣言することが重要です。マルコ 11:22-23「だれでも、この山に向かって、『動いて、海にはいれ。』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。」アーメン！